

○令和5年度第1回つくばみらい市総合教育会議

- 1 日時 令和5年4月26日(水) 午前10時30分から
- 2 場所 伊奈庁舎 3階 大会議室
- 3 出席委員 つくばみらい市長 小田川 浩
 教育長 町田 幸子
 教育長職務代理者 高橋 秀光
 委員 久下 伸子
 委員 安河内崇代
 委員 秋田 昌彦
- 4 欠席委員 なし
- 5 出席職員 教育部長 鈴木 富夫
 学校総務課課長 尾崎 和博
 学校総務課課長補佐 海老原 弘
 学校総務課課長補佐 松崎 隆
 学校給食センター所長 直井 仁志
 学校総務課主査 坂本真理子
 学校総務課主査 福田 渉
 学校総務課主査 大久保正道
 学校総務課主事 大倉 未季
 教育指導課課長 櫻井 芳則
 教育指導課副参事 嶋田 知成
 教育指導課指導主事 小泉 直孝
 教育指導課指導主事 平賀 和明
 生涯学習課課長 大山 茂
 生涯学習課課長補佐 渋谷 正夫
 文化振興室室長 浅野 博之
 スポーツ推進室室長 松信 隆
 伊奈公民館館長 広瀬 実
 図書館館長 川田 賢司
- 6 傍聴人 なし
- 7 協議・調整事項 (1) 令和5年度 教育委員会の主要事業について
- 8 議事

事務局	【令和5年度第1回つくばみらい市総合教育会議の開会宣言】
市長	【あいさつ】
事務局	それでは協議・調整事項に入ります。進行につきましては運営要綱規定に基づき市長をお願いします。
市長	(1) 令和5年度 教育委員会の主要事業について」説明をお願いします。
事務局	令和5年度 教育委員会の主要事業について説明
市長	質疑を諮る。

委員	<p>昨年度、学校総務課・生涯学習課で学校のプールを無くして総合プールもと話しました。また、夏場の屋外プールは利用しづらくなってきています。プールの維持というのは莫大なお金がかかるので、体育の先生等の意見も参考に計画した方がよいと昨年申し上げたと思うのですが、どのような根拠で中学校にプールを作る経緯となったのでしょうか。また、スポーツ基本計画で市民プールを計画しているとのことですが、学校のプールの開放が現在市民にできていない中で総合的にどう考えるべきでしょうか。根拠などお聞かせ願えればと思います。</p>
事務局	<p>中学校プール施設については、民間への委託も含めて検討しております。また、基本設計の中でもワークショップ等を通じて教職員の皆様にご意見を参考に検討させていただいた結果、自校にプールは必要であるということだったため、新設中学校についても作るという判断で進めさせていただいております。</p>
事務局	<p>また、学校施設の開放に関しては、生涯学習課と連携をしながらプールの開放の検討をしております。</p> <p>スポーツ計画で市民プールがメインになりますが、学校にあるプールが老朽化しているため、学校の子供たちも授業として利用できるようなことを想定しております。また、年間を通して利用できるように温水プールを考えております。</p>
委員 市長	<p>自校にもあり市民プールも作るという理解でよろしいですか？</p> <p>考えた中で市民プールの活用が主となると思うが、古くなったプールは使えなくなっていくため、将来的にはプールの授業は市民プールを利用していく方向になると思います。なおかつ市民の健康維持で利用していただくという考えをもとに市民プールを作ります。</p> <p>みらい平の中学校にプールを作るか作らないかというところは1つ無駄なんじゃないか。もったいないんじゃないか。議論として出てくると思いますが、やはり1校に1つプールは確保したいという思いはあります。近くにないとバスの移動や、授業の中で移動時間がどのくらいかかるのか当然考えなければいけないことですし、大きな中学校で1つのプールで間に合うのかというのがあります。今後変容できるようなことを想定しながら、自校のプールと市民プールを両方使いながら全ての生徒が水泳の授業を受けられることを、一番に考えております。</p>
市長 委員	<p>他にありますか？</p> <p>2つ伺いたいです。1つは幼稚園のALT派遣事業についてです。当市は幼少期から英語の教育に熱心に取り組んでいただいております。令和5年度事業の中で更に指導員を配置して事業が拡充するのは望ましいことだと思います。今までの事業内容に比べると、6月から各幼稚園に毎日1名の外国人指導員が配置されることによって、どれくらい英語の授業が充実したものになるのか一つ伺いたいです。</p> <p>もう一つは、文化財保護についてですが、埋蔵文化財の調査と同時に整理</p>

	<p>もされていると思います。これから新たな埋蔵品を保護していくという意味では、これから発掘調査していくことも大事ですが、すでに取り上げられた谷和原公民館にある膨大な量の埋蔵文化財の行方、整理方法について伺いたい。例えば十和小学校の空きスペースを使って展示していただいてもいいと思います。</p>
事務局	<p>幼稚園 ALT についてですが、今までは週 1 回小学校の ALT の派遣の方にスケジュールを組んで各園にお願いしておりました。本年度については朝から子供たちが帰るまで 1 日中派遣をお願いしています。授業というよりは園の生活の中で普段から英語に慣れ親しんでいただければと思います。詳細については派遣事業者と調整していく予定です。</p>
委員 事務局	<p>ある程度形が整ったらぜひ拝見させていただきたい。 文化財について、以前から埋蔵品の保管場所は変わっておりませんが、番号を振って整理はされています。やはり展示場所がないので、まずは場所の確保が必要となっています。それができれば、皆さんにみせられるような形で展示したいと考えております。</p>
委員	<p>新聞紙の中でずっと保管というのは本当にもったいないことだと思います。埋蔵品は市の遺産なので、子供たちにもぜひみていただきたいです。10年経っても何も改善されていないのであれば、ぜひ埋蔵品に光を当てていただきたいです。</p>
市長 委員	<p>他にありますか。 1つは感想です。総合教育支援センター事業について、10月から旧十和小学校に会場が移ることに伴い、先生たちの活動の範囲も広がっていくことを考えますと支援員、教育相談員の増員は非常にありがたいことだと思います。</p>
事務局	<p>もう一つは部活動の地域移行事業についてです。今年度から教育課程も変わり、学校は工夫をしてやっていると思います。中学校にとって、部活動の地域移行は大きな改革だなという思いです。その中で地域移行におけるコーディネーターとはどういう方なのでしょう。私のイメージは学校と部活動指導員の橋渡し役のような役割なのかと感じていますが、どのようなことをやられる方なのか伺いたいです。 地域移行におけるコーディネーターは、部活動指導員の意見や学校の先生の代わりに外部の指導員を派遣するため、また、民間の団体や学校をつなげるような橋渡しのような役割で、主に連絡調整をいただいている方です。今年度部活動指導員を10名まで増員しましたが、中学校によって人数に差があるので、早い段階で文化部含むすべての部活動も幅広く連絡調整していただければと思います。</p>
市長 委員	<p>他にありますか。 総合教育支援センター事業についてですが、不登校は全国的に大きな課題で、本市も例外ではないと思います。昔は子供が学校に適應できないんじゃないかという考えもありましたが、今は子供に学校が適應できているの</p>

事務局	<p>かというところが問われていると思います。そういう意味で総合教育支援センターは期待しています。しかし、すべてが解決するようなものではないと思っています。総合教育支援センターと学校との連携、保護者との協力が大事です。今までと違い総合教育支援センターで教育相談も行うので、新しい場所で教育相談ができるという情報を発信し、相談しやすい体制にしていきたいです。</p> <p>2つ目は、中学校の働き方改革の最大の焦点が部活動改革だと思います。茨城県については部活動の地域移行が進んでいます。人材確保が大事ですので、今年度増員したと思いますが、これから先の見通しがどうなっているのか伺いたいです。また、通学路の安全推進会議について、子供たちの命にかかわる問題です。通学路が改善されているところと、まだまだいろいろな所へ働きかけなきゃならないところがあると思います。危険区域に対する実際の改善の方向、いろいろな部署との対応について伺いたいです。これからの指導員の確保については、教育委員会や学校では見つけづらい現状があります。市内にはスポーツクラブみらいという団体もあるので、連携を取ってご協力いただき、また、それ以外の団体の方にも外部の方を紹介していただくことを検討していければと思っています。他市町村において各学校で退職された先生で、部活動に興味・関心のある方でぜひ参加したいという意見をうまく吸い取り、人材確保を進めていきたいと考えています。</p>
事務局	<p>通学路安全推進会議のメンバーは常総警察署、土浦土木事務所、防災課や建設課等の担当職員が持ち寄って会議を行っています。横断歩道や信号機の設置という話もありますが、実際のところ難しい状況も見られます。そういった場合、通学路の変更の検討も含めて子供たちの安全指導になってしまう場合もありますが、常総警察署には日々要望を出しています。また、指導については、建設課と連携を図りながら対応しております。</p>
市長 委員	<p>他にありますか。</p> <p>コミュニティスクール、支援センターの中で地域に開かれたというのが書いてありますが、防犯というのもあり、地域に開かれる学校というのは案外難しいと感じています。</p> <p>通学路についても、本当であれば地域と家庭が通学については責任を持たなければならないと思います。地域の方にどのように開いていくのかという構想を伺いたいです。</p> <p>また、先ほどの通学路の話と同じように他の課と連携しなければいけない会議が増えてきているのではないかと思うので、そういった他の課と一緒にあった会議は考えているのか伺いたいです。</p>
事務局	<p>コミュニティスクールは今年度から設立を含め準備を進めており、学校運営協議会準備委員会を計画的に進めていく考えでおります。モデル校をどういう風に進めていくかという、中身も含めて検討してもらいたいと思っていますので、詳細については現時点ではお答えできません。結果について</p>

市長	<p>は、行政はもちろんのこと地域の方にいろいろ協力してもらって学校を何とかしていこうということが最大の目的です。各部署と共有して進めていきたいと考えています。</p> <p>地域への学校の開放ということでいろんな団体から要望がでてきます。空き教室を使いたい、それに伴い学校に地域の人が出入りするから子供たちも安全だろうという意見もありますが、一方子供たちの安全や授業に与える影響、また、不特定多数の人が入ることになり、限られた人以外の人が入ることに対しての安全が保てるのか懸念材料が多いため、学校に外部の人が入るのは今のところ踏み込めないでいます。近隣では地域の人が学校に入って、何かしら参加して成功例があるので、子供たちにとってもいい環境が作れるのであればコミュニティスクールが始まってくるので勉強させていただければと思っています。</p> <p>学校は子供たちのためにあるので子供たちのために考えていきたいと思っています。</p>
市長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>終了して、事務局に戻します。</p> <p>【令和5年度第1回つくばみらい市総合教育会議の閉会宣言】</p>

上記決議を明確にするため、本議事録を作成する。

令和5年4月26日

市長
教育長

小田川 浩
町田 幸子